



シェイクハンド

第60号
R2.9

～静岡県訪問看護ステーション協議会便り～

なやみは半分、よろこび倍増

さあ みんなで手をつなごう!!

『事務所が移転しました』

新住所：〒420-0839

静岡県静岡市葵区鷹匠3丁目6番3号

静岡県医師会館4階

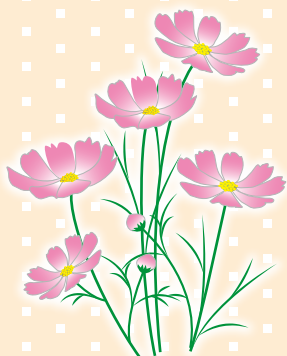
TEL：054-297-3311

FAX：054-297-3312

Mail：sizuokahoumonst@cy.tnc.ne.jp

令和2年4月30日に上記住所へ引っ越し致しました。
新事務所で頑張っています。よろしくお願ひ致します。

※新メンバー紹介 7月1日付 成岡 友郁



静岡県医師会館



(一社) 訪問看護ステーション協議会メンバー



令和2年度 通常総会

一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会の令和2年度・通常総会は、6月27日（土）に静岡県総合研修所もくせい会館にて開催されました。会員数は205事業所で、うち出席は18事業所、委任状は160事業所で、会員の過半数の出席をもって総会は成立致しました。皆様のご協力にお礼申し上げます。

総会では次の報告と議案が提案され、可決・承認されましたので、ご報告致します。

1. 一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会定款の一部変更
2. 一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会会費規程の一部変更
3. 令和元年度事業報告
4. 令和元年度決算報告
5. 令和2年度一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会理事
6. 令和2年度事業計画・予算

【令和2年度 一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会役員紹介】

会 長	渡邊 昌子	公益社団法人 静岡県看護協会	会長
副 会 長	上野 桂子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団	監事
副 会 長	福地 康紀	一般社団法人 静岡県医師会	理事
理 事	立花 恒輔	一般社団法人 焼津市医師会	理事
理 事	野中美保子	ラポールあい訪問看護ステーション	所長
理 事	木原 裕美	医療法人社団 静岡健生会	訪問看護統括所長
理 事	佐々木卓子	訪問看護ステーション百葉	所長
理 事	松川 香織	訪問看護ステーションうしぶせ	所長
理 事	大村 早苗	つどいのおか訪問看護ステーション	所長
理 事	石神 弘美	訪問看護ステーションスポット	所長
理 事	望月多恵子	訪問看護ステーション駿河	所長
理 事	原 との子	訪問看護ステーションあおむし	所長
理 事	山口美津子	訪問看護ステーション住吉	所長
理 事	東 ゆり	訪問看護ステーションあすなろ	所長
理 事	野末 浩子	訪問看護ステーション白脇	所長
理 事	松下 知子	訪問看護ステーションはまおか	所長
理 事	長瀬 由美	訪問看護ステーションいわた	所長
監 事	吉富 雄治	一般社団法人 三島市医師会	副会長
監 事	松井 順子	公益社団法人 静岡県看護協会	常務理事

東部支部長 野中美保子 中部支部長 石神 弘美 西部支部長 山口美津子

広報委員 ◎原 との子、木原 裕美、東 ゆり ※ ◎は各委員会の委員長
 研修委員 ◎長瀬 由美、松川 香織、望月多恵子
 総務委員 ◎大村 早苗、佐々木卓子、野末 浩子
 企画委員 ◎松川 香織、野中美保子、石神 弘美、望月多恵子、山口美津子、大村 早苗
 事務局 鈴木 恵子（事務長）、白鳥江里佳、竹之内理香、成岡 友郁、籠宮 朋美



(一社) 訪問看護ステーション協議会
会長 渡邊 昌子



令和2年度通常総会の風景

〈新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な物品が届く〉

訪問看護において必要不可欠なマスクや消毒液が足りないという切実な現場の声を県に訴えることにより、厚生労働省・静岡県より物資が配布されました。各ステーションへ配布数は下記のとおりです。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ①マスク：500枚／ステーション | 総数 112,000枚 |
| ②アルコール手指消毒液：3 L／ステーション | 総数 870 L |
| ③マスク：500枚(2回目の供給)／ステーション | 総数 112,000枚 |
| ④ガウン：50枚／ステーション | 総数 11,400枚 |
| ⑤フェイス・シールド：50枚／ステーション | 総数 11,400枚 |



また、静岡県へ寄贈された台湾からのフェイス・シールド、ガウン、ゴーグル、マスク、手袋のセットを訪問看護へ供給して頂きました。全ステーションへ配布するには数が少なかった為、希望する事業所へ着払いで配布しました。必要な物品が届いたことにより利用者に迷惑をかけずに訪問が出来ました。感謝致します。





ステーション紹介

東部

ケアーズ訪問看護リハビリステーション駿東

木村 るり子

ケアーズ訪問看護リハビリステーション駿東です。当ステーションは駿東郡長泉町に2014年1月に看護師5名、作業療法士1名、事務1名でスタートしました。訪問地域は長泉町、清水町、裾野市、沼津市、三島市です。

開設当初、看護師5名のうち4名が訪問看護未経験者であり、唯一の経験者である看護師スタッフも開設1ヵ月半で退職してしまうという状況でした。そのような中で協議会開催の勉強会や病院での研修会などの参加、他のステーションからの助言をいただきながら今年、事業者の指定更新を行うことができました。現在は看護師7名、作業療法士2名、理学療法士4名、事務1名の計14名で利用者の在宅生活をお手伝いしております。

「住み慣れた家で地域でケアーズ駿東が明るい心でサポートします」を理念として活動しています。明るい環境がなければ明るい心、優しい心は生まれてきません。スタッフ同士の気遣い心遣いを大切に、その気持ちで利用者とその家族に接しケアをしていくことが必要と考えております。お伺いすることを心待ちにしてくれる、今度相談しようと思ってくれるこのような

気持ちにしっかりと応えていきたい！スタッフ一同の考えです。

訪問看護に携わったからこそ、一人の方としっかり向き合い、家族の立場を理解しながらケアをしていく大切さ、むずかしさを知ることができました。これからは今までと違う生活様式を強いられていきます。その中で訪問看護ステーションができること、やらなければいけないことをケアマネージャーや医師、他職種サービスと連携しながら考えていき行動したいと思っております。

次は「訪問看護ステーション椎路」です。



中部

訪問看護ステーションふるさとの家

石切山 紀子

こんにちは、訪問看護ステーションふるさとの家です。当ステーションの母体は株式会社ホームズです。平成27年に開設し、5年目を迎えています。現在職員は、看護師3名で活動しており小規模なステーションです。看護小規模多機能も併設しており、現在はそちらでの活動が主になっております。今年の

10月には、看護小規模多機能サテライトができる予定であり、既存の施設とサテライトでの医療面でのケアが多くなっていくと思われます。

ステーションの理念は「利用者の生活の質を確保し、その人らしく快適な在宅療養生活が送れるように支援する」です。そのために看護師一人一人がそ



の人に合ったケアを主治医やケアマネ、家族と相談し、必要な時に必要な訪問看護を提供できるよう日々努力しています。また、利用者みんなが笑顔になれるように『いつも笑顔を忘れない、温もりのあるケアを心がける』を常にスタッフ間で声をかけ合い実行しています。これからも訪問看護、看護小規模多機能共に地域により密着し、訪問看護を必要とするすべての人々に、よりよいケアが提供できるよう皆で心がけていきたいと思っています。

次は「訪問看護ステーションスポット」です。



西部 訪問看護ステーションルピナス

大石 典子

はじめまして、訪問看護ステーションルピナスです。当ステーションは平成25年に開設し、8年目を迎えようとしています。掛川市大池に事務所を構えております。訪問地区は掛川市・袋井市・森町を対象としています。現在、常勤看護師6名・非常勤看護師2名・事務1名で活動しています。

ステーションの理念は「おうちがいちばん。あな

たの在宅医療に安心をお届けします」です。そのための基本方針は

1. 在宅で療養される方が、より安全に安楽に過ごせるよう看護を提供する。
2. 24時間いつでも相談に乗り、緊急対応する。
3. 家族との関りを大切にする。
4. 主治医・ケアマネジャー、他事業所との連携を密にする。

5. 家で最期を迎えるサポートをする。

毎日のカンファレンスを通して、日々の利用者の状態を把握し、問題点があれば常に相談しあえる職場環境をつくっています。

職場はとても明るく、職員同士がとても仲が良く笑顔が絶えません。これからも自分たちの健康に留意しながら、利用者のために日々努力し信頼を得ていきたいと思っています。

次は「訪問看護ステーション中島」です。





東部所長会議・全体研修について



訪問看護ステーションほほえみ

所長 渡辺 澄子

第一回東部所長会議・全体研修

日時：令和2年7月4日

場所：千本プラザ大会議室

参加役員：野中美保子・佐々木卓子・木原裕美・松川香織

研修参加者：22人（役員含む）

内容：新型コロナウイルス感染症のステーションにおける対応策、困りごとの共有。

全体研修では岩下調剤薬局 柄田浩孝氏に「最近のお薬事情について」お話をいただきました。

東部所長会議・全体研修で、最近の薬についての研修と新型コロナウイルスの情報交換が行われました。

全体研修では、岩下調剤薬局柄田浩孝氏による「最近のお薬事情について」講義がありました。

日本で処方されている医療医薬品数は20000以上あり、多剤内服している方が多く訪問看護への内服管理の依頼は少なくありません。

当ステーションの内服管理をしている利用者は、カレンダーや箱にセットしています。1回に飲む薬の種類は多く、またシートでの処方であるため、バラバラになってしまうことが多いです。また、新しく処方された薬があっても、利用者や家族は把握していないこともあり、かかりつけ医へ問い合わせの電話をすることが度々あります。そうすることで、本来行わなければならないケアが滞ってしまうことが出てきてしまいます。

しかし、薬剤師が在宅ケアに介入することで、その分看護師がケアに集中することができるケースも少なくありません。そういう点からも在宅での多職種連携の大切さを知ることができます。専門知識のある薬剤師からの説明により、薬の飲み方や飲み残し、飲み合わせの問題などを専門的視点から見ることで原因を探ることができ、その方のADLやQOLの維持を図ることができると思います。利用者が住み慣れた地域で長く暮らせるように、チームとして多職種との連携の大切さ、必要性を改めて感じた研修でした。

新型コロナウイルスによる感染者数は全国で増加し、静岡県内でも同様に感染者数は増加してきています。感染対策として、手指消毒剤・マスク・ゴーグル・フェイスシールドなどの物品を訪問看護ステーション協議会から配布され、とても有り難く使用しています。まだコロナウイルスへの感染対策は必要で、自らの感染の不安も感じながら訪問看護を提供していく状況の中、各ステーションの対応や対策・悩みなどの情報交換を行いました。

悩みのなかには、入浴介助時のマスクの装着におけることでした。自分たちが感染させてはいけない、感染しないということから、マスクを外すことは難しい状況です。当ステーションでもマスクの着用による熱中症も起きかねませんが、感染を考えるとやはりマスクを外して行うことは難しい状況です。利用者や家族へ承諾を得て、マスクを顔から外し空気の通り道を作るなどの対処をしていくしかないと感じました。

また、利用者が発熱した時の訪問の際、往診医と訪問看護師の服装に差があるとのことでした。発熱対応として防護服を着て訪問している私たち看護師と、普段と変わらない服装で来る医師との対策の違いには大きいものがあり戸惑うとの話がありました。

コロナウイルスという目には見えない物との闘いはまだまだ続いていくため、近隣の事業所と連携を図り、新型コロナウイルス感染症対策を行い安心して訪問看護が行えるようにしていきたいです。



ケアマネジャー在宅医療研修に参加して

つどいのおか介護支援センター

千野貴宏

近年、自分の住み慣れた環境で穏やかに療養したいという方が増えてきており、療養生活を送るうえで医療面のサポートが必要になってくる。そのような状況が増えていく中で、私自身、主治医と連携方法・訪問看護の導入のタイミング・家族に対する支援方法を学びたいと思い受講しました。

講義では「死」とは何か改めて考える機会となりました。本人、家族、主治医と話し合い、看取る方法を確認していても「何とかして欲しい」と家族が救急車を呼ぶケースがあるとの話を聞き、終末期の過程において死をどのように受け止めたら良いのか看取る立場の家族の思いが錯綜するなど、変化が感じられました。講義の中では「こういう時は、こうしましょう」と絵を描けるようにすることが大切であり、その為に経験を積み、多くの経験の中でも失敗した経験が大きく今後に役立つとのことでした。

また、死という出来事に対して一人称（本人）二人称（家族）三人称（他人・専門職）と立場によ

て異なる相貌を持っています。私たちは、専門職の考えを押しつけてはいけなし、家族に情が入り込み冷静な判断ができなくなっても困ります。客観性を保ち家族に寄り添いながら冷静な判断ができるよう2.5人称の視点を今後意識していきたいです。

同行訪問をし、訪問看護というと医療処置のイメージが強かったですが、それ以上に本人・家族への精神的支えの方が大きいと感じました。本人・家族の意思を尊重しながら自己決定や自立を支援する個別性の看護というものが大切だと思いました。

グループワークでは、連携に必要なのは相互理解とコミュニケーションだと再確認することができました。

医療的な立場から見ると、ケアマネの立場から見ると、それぞれ専門的な分野によって考え方が変わってくると思いますが、専門職同士積極的に情報共有、コミュニケーションを図りチームで同じ方向を向くことでより良い支援に繋がると感じました。

ケアマネジャー在宅医療研修を受講して

ケアプラン笑楽日

小林奈美

訪問看護師は、私にとっては常々心強い存在であります。医療面の相談にしばしば応じてもらい、ともに支援方法を検討していくこともあります。

今回この研修に参加し、訪問看護の現状やアドバンスプランニングの意義、そして様々な疾患を持たれた方々の自宅へ出向いての現場実習と広く体験する機会となりました。

現場実習では当初、癌の方への疼痛管理や全身管理、スピリチュアルペインについて学べたらと希望していましたが、今回の実習では多系統萎縮症の方、知的障がいのある糖尿病の方の同行をしました。若くして病気と向き合わざるを得なかったこと、今の年齢になり身体的な変化や生活の変化、そして共に暮らす親の老いの変化など、在宅ならではの課題や今後の支援の在り方などを今一度考える機会となりました。

病院や施設とはまた違った医療的なケアだけではなく、その方の思いに耳を傾け、世間話から生活の

ことなど広く全般的な関わりを持つということも在宅ならではの支援であり、まさに医療との連携の必要性や意味を感じています。

最終日のグループワークでも同グループのメンバーと在宅医療についての意見交換や、ケースについて一緒に考え合う時間を持ってました。その中で、終末期の関わりについて意見を交わす時間がありました。その方がどんな人生をこれまで送ってこられ、どんな終わり方をされるのか、その方の人生を見届けるという尊さを感じながら自分自身も支援にあたっていきたいと改めて考えさせられました。

そして、支援を行う上で大切にしていきたいことがあります。それは、他者の痛みにのみ目を向けるだけではなく、支援者自身のセルフケアも意識し、良い支援を行うための自分自身のグリーフケアです。

今後も風通しのいい連携を図り『one team』で在宅支援を行っていきたいです。



研修のお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策として受講者の皆様にはマスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いしております。よろしくお願い致します。

◆在宅普及啓発

地区	開催日時	会場
東 部	令和2年12月5日(土) 13:15~16:30	富士市フィランセ大ホール
中 部	令和2年11月14日(土) 13:15~16:30	静岡労政会館大ホール
西 部	令和2年10月31日(土) 14:00~15:30	地域情報センターホール

◆技術向上研修 西部は令和3年1月22日(金)、2月19日(金)に開催します。申込締切は開催日の1週間前です。受講許可は発送しません。

地区	開催日時	会場
東 部	令和2年10月14日(水) 18:00~20:00	聖隷富士病院
	令和2年10月23日(金) 18:00~20:00	プラサヴェルデ407(沼津市)
中 部	令和2年12月23日(水) 18:30~20:30	あざれあ第1研修室(静岡市葵区)
	令和3年1月20日(水) 18:30~20:30	ウェルシップ焼津大会議室

◆小児訪問看護研修 中部・西部は終了しました。東部の申込み締切は令和2年10月30日(金)必着です。

地区	開催日時(各地区全2日間)	会場
東 部	令和2年11月28日(土) 10:00~16:00	三島市民文化会館第1会議室
	令和2年11月29日(日) 10:00~16:00	三島市民文化会館第1会議室

◆認知症訪問看護研修 東部は募集を終了しました。中部は令和3年2月6日(土)、2月7日(日)に開催します。

地区	開催日時(各地区全2日間)	会場
東 部	令和2年10月17日(土)・18日(日) 10:00~16:00	三島商工会議所 会議室D
西 部	令和2年11月14日(土)・15日(日) 10:00~16:00	福祉交流センター43会議室

◆経営セミナー・開設セミナー 申込締切は開催日の5日前までです。

セミナー	開催日時	会場
経営セミナー	令和2年10月5日(月) 9:30~16:00	ホテルアソシア小宴会場
	令和2年12月15日(火) 10:00~16:00	ホテルアソシア小宴会場
開設セミナー	令和2年11月4日(水) 13:30~16:00	ホテルアソシア小宴会場

◆在宅ターミナルケア研修 西部は募集を終了しました。

地区	開催日時(各地区全3日間)	会場
東 部	令和2年11月7日(土) 13:30~16:00	プラサヴェルデ407会議室
	令和2年12月19日(土) 10:00~16:00	プラサヴェルデ401会議室
	令和3年1月30日(土) 10:00~16:00	プラサヴェルデ
中 部	令和2年10月10日(土) 13:30~16:00	あざれあ第2研修室
	令和2年12月12日(土) 10:00~16:00	シズウェル103会議室
	令和3年1月16日(土) 10:00~16:00	シズウェル103会議室

◆リンパドレナージ研修

地区	開催日時	会場
東 部	令和2年11月8日(日) 9:30~16:30	プラサヴェルデ401会議室
中 部	令和2年10月25日(日) 9:30~16:30	もくせい会館第1会議室
西 部	令和2年10月11日(日) 9:30~16:30	研修センター62研修交流室

編集後記

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断を許さない状況が続いています。みなさんも健康に留意しながら新型コロナウイルスと闘っていきましょう。



シェイクハンドNo.60

2020年9月発行

発行所 一般社団法人 静岡県訪問看護ステーション協議会
〒420-0839
静岡市葵区鷹匠3丁目6番3号
静岡県医師会館4階
Tel 054-297-3311
Fax 054-297-3312
e-mail sizuokahoumonst@cy.tnc.ne.jp

発行人 渡邊 昌子
編集者 木原 裕美(医療法人社団 静岡健生会) 東部
原 との子(訪問看護ステーションあおむし) 中部
東 ゆり(訪問看護ステーションあすなろ) 西部